

## Contents

- うらた農園（糸島市）～ 経営の進化、担い手の育成をめざして～
- 株式会社 高橋商店（柳川市）～ ゆず加工品を海外へ～
- 2023年漁業センサスにご協力をお願いします

## うらた農園（糸島市）～ 経営の進化、担い手の育成をめざして～

2001年の法人化以降、福岡県内で先駆的にみず菜の栽培をはじめ、認証取得の助成を契機に国際水準GAPを2018年に取得した同社。その経営の工夫や今後の展望等についてお話を伺いました！

### 一 経営概況は？

- ・ 経営面積：約4.6ha
- ・ 栽培品目：みず菜(年間約7作)、ほうれんそう、トウモロコシ等
- ・ 従業員：28名（正社員3名、外国人技能実習生6名、パート19名）
- ・ 販路：市場、小売店等への直接販売
- ・ 福祉施設と連携した生産(トウモロコシの播種作業等)

〱 お話を伺いました！



代表取締役 浦田康明 氏

若い世代が農業に憧れ、希望を持ち、実際に農業で生計を立てられるようになる必要があると思っています。今後、そのような給与水準で雇用し、将来は独立して営農できるような人材を受け入れ、育てていけるよう経営を進化させていきたいです！

### 一 自社の強みは？

収穫後の選別・梱包作業時の検品を重視し、安定した品質を確保しています。このため、返品率が低く、取引先との信頼関係を構築してきました。ASIAGAP認証の取得・更新について、更新料が取引価格に反映されている訳ではないですが、作業の一つ一つを分解し、各個人にあった計画を立てる等、安全性向上や効率化、経営の考察に役立つメリットがあります。

### 一 課題・今後の展望は？

これまで規模拡大や単収向上を図ってきましたが、みず菜の需要が飽和状態にある中、他の品目の生産拡大を検討中です。また、当社商品の差別化も視野に、今秋から特別栽培農産物の栽培に挑戦し、将来的には有機JAS認証の取得を目指しています。また、近年始めた福祉施設との連携では、作業範囲の拡大を検討中です。

意見交換、ありがとうございました！

記事作成担当：九州農政局福岡県拠点地方参事官室 橋本



ほ場



選別作業



商品



## 株式会社 高橋商店（柳川市） ～ ゆず加工品を海外へ～

同社は、新たな発想で開発したゆず加工品の輸出を2009年から開始しました。この度、好調な輸出を続ける同社にその取組みについて伺いましたので、ご紹介します。

### ー どこに何を輸出していますか？

**ゆずの調味料、ゆずの皮、ゆずの果汁**を中心に主に**タイ**に輸出しています。当時、すでにゆずこしょうを輸出していましたが、**お客様の声を活かして「液体のゆずこしょう」を開発**したことが海外の販路開拓につながりました。

なお、原料については、九州の生産者と契約し、香り高い高品質なゆずを厳選して確保しています。

### ー 輸出が好調な要因は？

輸出にあたり、**展示会や現地のプロモーションに積極的に参加**するとともに現地のゆずの認知度を高めるため、**飲食店に調味料を置いてもらう等の工夫**をしました。同時期に他産地の業者もゆず商品の輸出に力を入れたことの相乗効果もあり現地での認知度向上に効果があったと考えています。

**地道に提案を続けてきたことで、日本のゆずがタイの食文化と融合して現地においても日常的な食材として様々な料理や加工品に利用されるようになりました。**

なお、これらの取組を通じて**相性の良い現地のパートナー企業と出会えたことが輸出が好調な最大の要因**です。

### ー 支援策の活用は？

輸出は初めてでしたが、JETROの「輸出有望案件発掘支援事業」や「食品輸出オンライン商談会」等を活用させていただくことで順調に輸出を伸ばすことができました。また、最近では農林水産省が推進する**GFPへ会員登録し情報収集**に役立てています。



東南アジア最大級の総合食品見本市「THAIFEX」へ「YUZU PREMIUM JAPAN」を出品

### ー 課題と今後の展望は？

現地では「ゆず風味」が普及し、原料ゆずの需要が高まっていますが、ゆずの契約産地では高齢化が進み、増産は容易ではありません。今後は他国への展開も視野に、契約産地に増産をお願いするとともに**適正価格での買取による支援**を行い**共存共栄**を目指します。

意見交換、ありがとうございました！

記事作成担当：九州農政局福岡県拠点地方参事官室 石原、高橋、山野



## 2023年漁業センサスにご協力をお願いします

農林水産省は、水産業を営んでいるすべての世帯や法人を対象に、令和5年11月1日現在（流通加工調査は令和6年1月1日現在）で「2023年漁業センサス」を実施します。調査票が届きましたら、ご回答をお願いします。なお、スマートフォン等を利用したオンラインでの回答も可能です。「漁業センサス」は、漁業の現状を知り将来を考えるための大切な調査です。回答内容は、統計を作成するためだけに使われます。ご協力をお願いします。

詳細はこちら → <https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/fc/2023fc/cp.html>



### 【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室  
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）  
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

